

icom

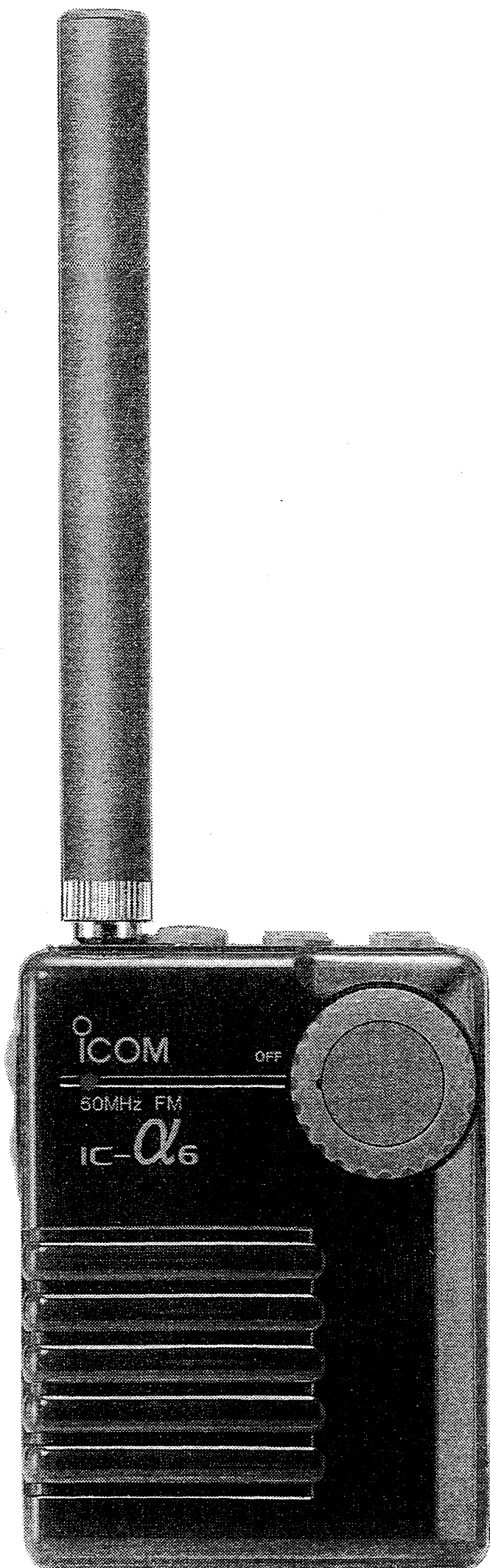
取扱説明書

50MHz FM  
超小型トランシーバー

IC-*α*6

この無線機を使用するには、郵政省のアマチュア無線局の免許が必要です。また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

Icom Inc.



# はじめに

このたびは、IC-α 6をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、アウトドアユースを考慮して設計された、50MHz帯超小型FMトランシーバーです。

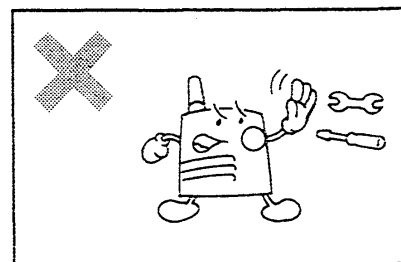
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくと共に、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 付 属 品

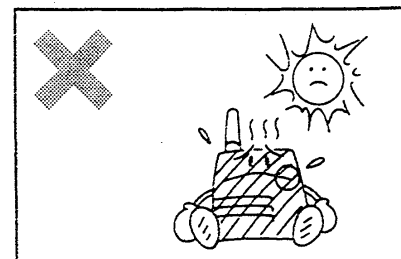
- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ●フレキシブルアンテナ……………1 | ●保証書……………1    |
| ●ベルトクリップ……………1    | ●愛用者カード……………1 |
| ●イヤホン……………1       | ●回路図……………1    |
| ●取扱説明書……………1      |               |

## 取り扱い上のご注意

- 本機は厳重な管理のもとで生産、調整されていますので、電池を入れる部分以外を除いて、内部の部品に触らないようにしてください。

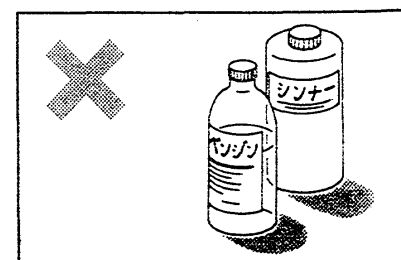


- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く、ほこりや湿気の多い場所などに置かないでください。



- 本機は日常生活における防滴構造を施していますが、水の中に入れてないようにしてください。

なお、水滴や汚れが付いたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。



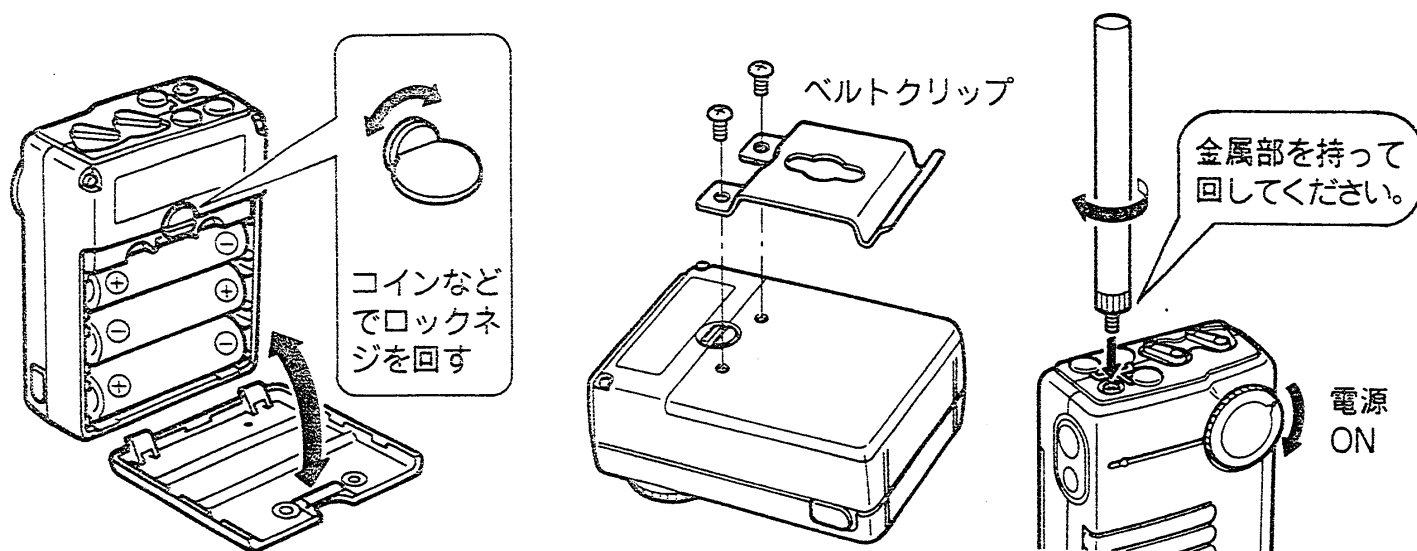
## ご使用の前に

電池の容量が低下するとTX(送信)表示LEDが暗くなり、音量や送信出力が低下します。

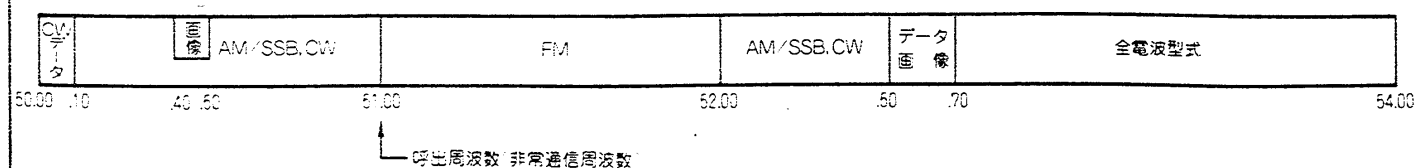
このような症状が出たときは、早めに電池を3個とも新しいものと交換してください。

- ①電池ケースのロックネジをコインなどで回し、電池ケースを外します。
- ②市販の単3型乾電池または充電式電池(ニッカド電池)を3個、プラス⊕とマイナス⊖を正しい方向に入れます。
- ③電池ケースを元どおりに取り付け、ロックネジを回して電池ケースをしっかり固定します。
- ④本体後面部に、付属のベルトクリップを取り付けます。
- ⑤付属アンテナ端子に、付属のアンテナを取り付けます。
- ⑥電源スイッチを時計方向に回して、電源を“ON”にします。

以上で使用する前の準備完了です。



### JARL(日本アマチュア無線連盟)制定の50MHz帯使用区分

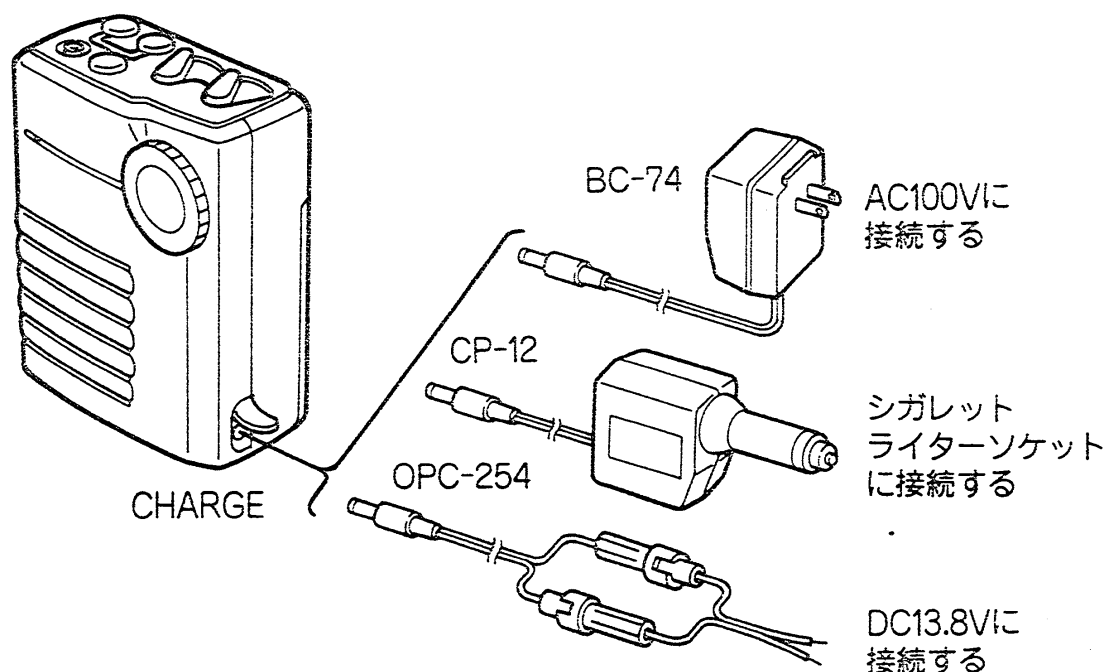


## 充電のしかた

充電式電池(ニッカド電池)を充電するときは、オプションのBC-74(バッテリーチャージャー)、CP-12(シガレットライターケーブル)または、OPC-254(外部電源ケーブル)を図のように接続してください。

※マンガン電池とアルカリ電池は、絶対に充電しないでください。

充電時の接続図



※充電中、本体は動作しません。

### ■充電時間と運用時間の目安

充電式電池の容量は、低下するまで比較的よい状態が続き、その後急速に電圧が下がり、運用できなくなります。

ご使用の前に、補充電することをおすすめします。

ニッカド電池の容量	充電時間	運用時間(送信:1分, 受信:1分, 待ち受け:8分)	
		シンプレックス	デュプレックス
450mAh	9.5H	7.5H	1.8H
500mAh	10.5H	8.5H	2.2H
600mAh	13.0H	10.0H	2.5H
700mAh	15.0H	12.0H	3.0H

# 各部の名称と機能

## MIC(外部マイクロホン)ジャック

オプションのマイク付きヘッドセット(HS-58)またはスピーカーマイク(HM-46)、タイピンマイク(HS-59)を接続するジャックです。

## SP(外部スピーカー)シ

付属のイヤホンまたはヘッドセット(HS-58)またはスピーカーマイク(HM-46)を接続する:

## 付属アンテナ端子

付属のアンテナを接続する端子です。

## PTT(プッシュ・トゥ・トーク)スイッチ

送受信を切り換えるスイッチです。

押すと送信状態になり、離すと受信状態になります。

## MONI(モニター)スイッチ

スイッチを押すと、瞬時にスケルチを開き、受信モニターできるスイッチです。

交信相手の信号が弱く受信音が途切れるようなときに、スイッチを押すとスピーカーから音が出ます。

## 内蔵スピーカー/マイクロホン

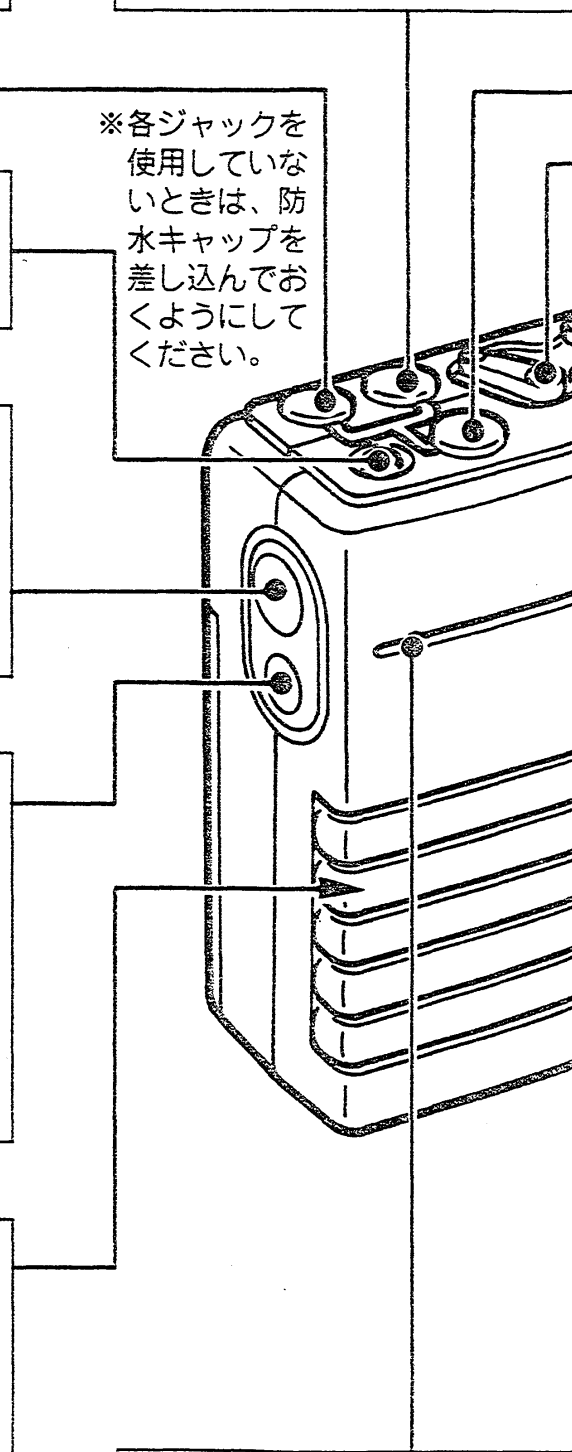
超薄型のスピーカーとエレクトレットコンデンサマイクロホンが内蔵されています。

外部スピーカーまたはマイクロホンを接続したときは、内蔵スピーカーまたはマイクロホンは動作しません。

※各ジャックを使用していないときは、防水キャップを差し込んでおくようしてください。

## TX(送信)表示LED

送信状態のとき、赤色LEDが点灯します。



ック  
クションのマイク付き  
び、スピーカーマイ  
ャックです。

### ANT(外部アンテナ)ジャック

インピーダンス50Ωの外部アンテナを接続する  
ジャックです。外部アンテナを接続するときは、  
2.5φのプラグをご使用ください。

### モードスイッチ

SIMP(シンプレックス)モード、VOX(ボック  
ス)モードおよび、DUP(デュプレックス)モー  
ドを切り換えるスイッチです。

### チャンネルスイッチ

交信チャンネルを切り換えるスイッチです。  
3チャンネルまで切り換えることができ、チャ  
ンネル“3”の周波数は、電池ケース内の予備チ  
ャンネルにより“3”または“4”、“5”に入れ替  
えることができます。

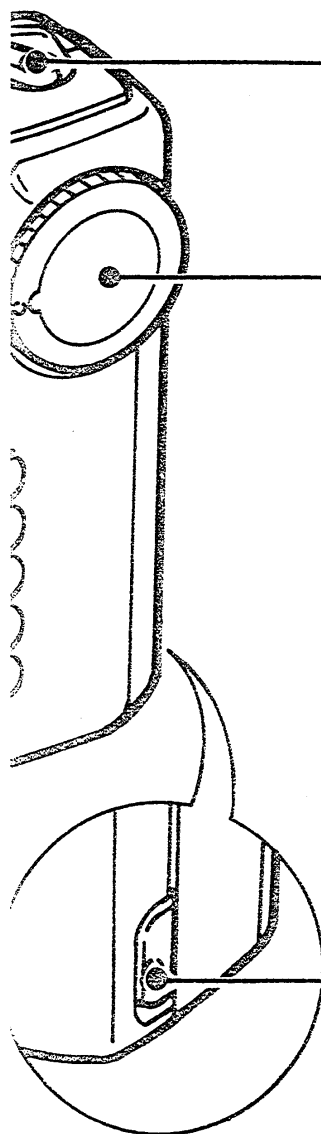
### 電源スイッチ/音量つまみ

電源のON/OFFと音量調整をするつまみです。  
時計方向に回すと電源が入り、さらに回すと受  
信音が大きくなります。

### CHARGE(充電)ジャック

単3型充電式電池(ニッカド電池)を使用してい  
るときに、充電するためのバッテリーチャージ  
ャー(BC-74)などを接続するジャックです。  
BC-74を接続しているときは、本体の電源は切  
れています。

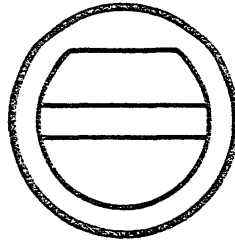
点灯します。



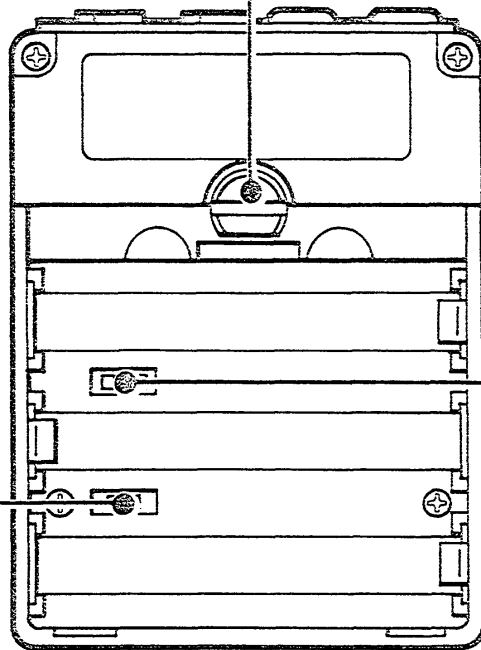
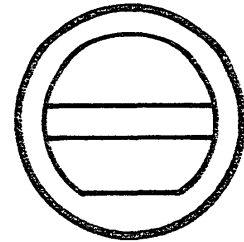
### ロックネジ

電池ケースをロックまたはオープンするネジです。

### ロック時



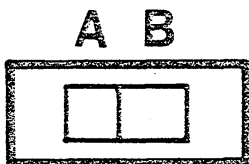
### オープン時



※本体後面部と  
電池ケースの  
内部

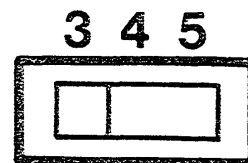
### 送受信反転スイッチ

デュプレックスモード時の送信周波数と受信周波数を反転するスイッチです。



### 予備チャンネルスイッチ

チャンネルスイッチ“3”の周波数を“3”または“4”、“5”に入れ替えるスイッチです。



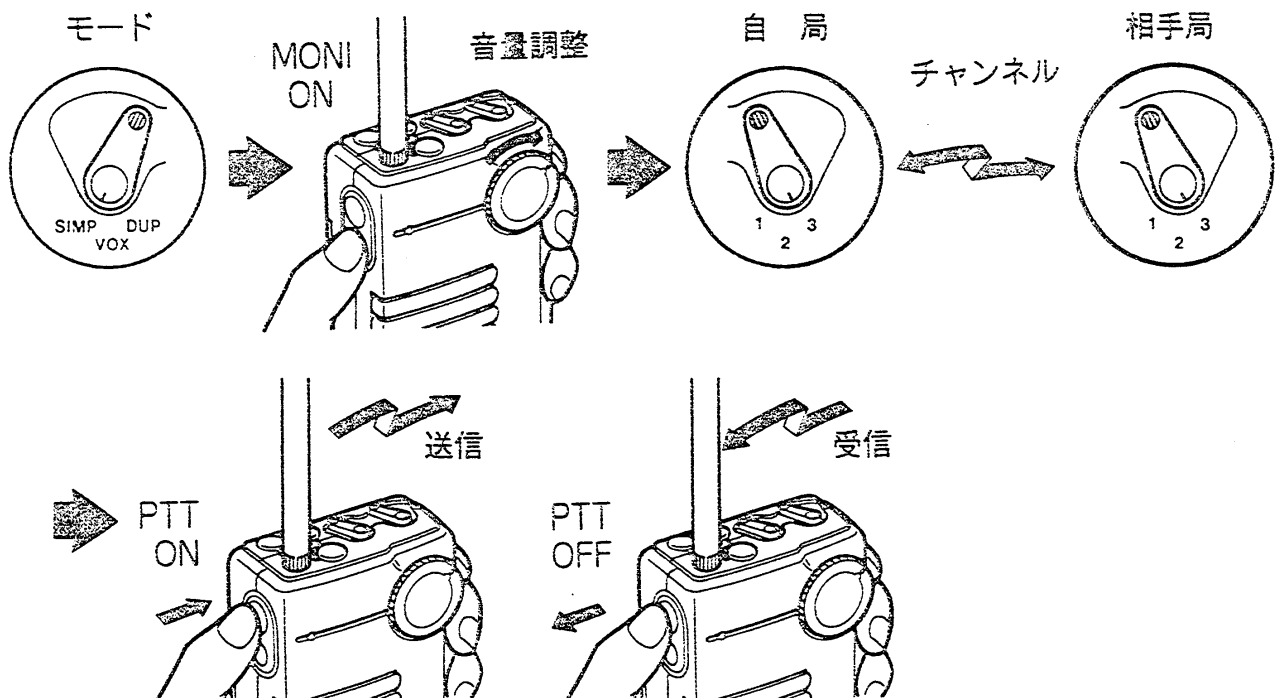
# 使 い か た

## ■SIMP(シンプレックス)モード運用

送信と受信を切り換えながら、同一チャンネルの周波数で交信するのがシンプレックスモードです。

交信範囲は、周囲の状況(建物や山など)により異なりますが、見通しのよい所で約600~900m位です。

- ①モードスイッチを“SIMP”にします。
- ②MONIスイッチを押しながら音量ツマミを回して、聞きやすい音量にします。
- ③チャンネルスイッチを切り換えて、相手局と自局の交信チャンネルを合わせます。
- ④PTTスイッチを押しながら、内蔵マイクロホンに向かって普通に話す大きさの声で話してください。  
※マイクロホンと口との距離が近すぎたり、あまり大きな声を出したりすると、かえって明瞭度が低下しますのでご注意ください。
- ⑤PTTスイッチを離すと、送信状態から受信状態に戻ります。





## ■VOX(ボックス)モード運用

シンプレックスモードと同様に、同一チャンネルの周波数で交信し、送信と受信の切り換えを音声の有無により自動的に行うのがVOXモードです。

①付属のイヤホンをSPジャックに差し込みます。

※イヤホンを付けずに運用すると、ハウリング(ブー音)をおこしますのでご注意ください。

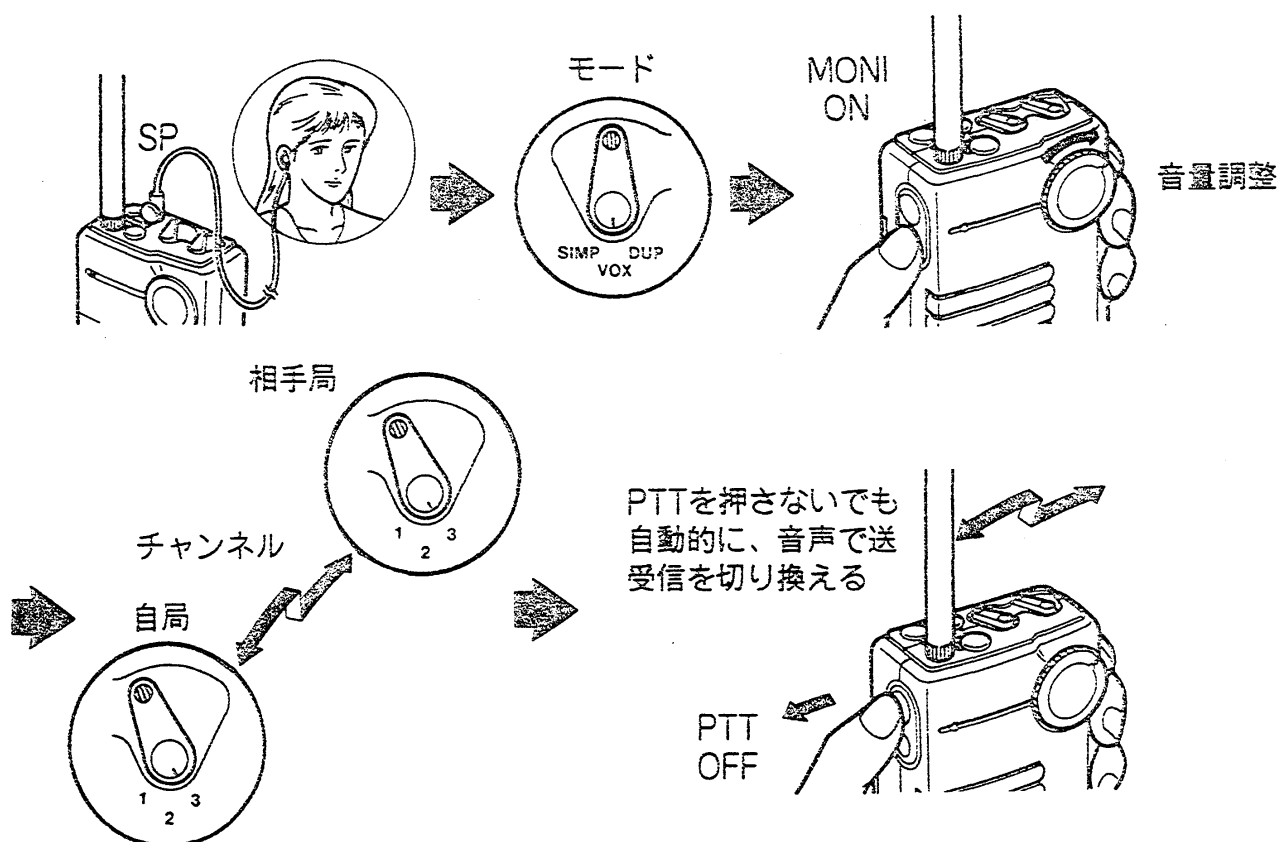
②モードスイッチを“VOX”にします。

③MONIスイッチを押しながら音量つまみを回して、聞きやすい音量にします。

④チャンネルスイッチを切り換えて、相手局と自局の交信チャンネルを合わせます。

⑤内蔵マイクロホンに向かって普通に話す大きさの声で話すと、PTTスイッチを押さなくても自動的に送信状態になります。

※音声の有無にしたがって、送受信を繰り返します。

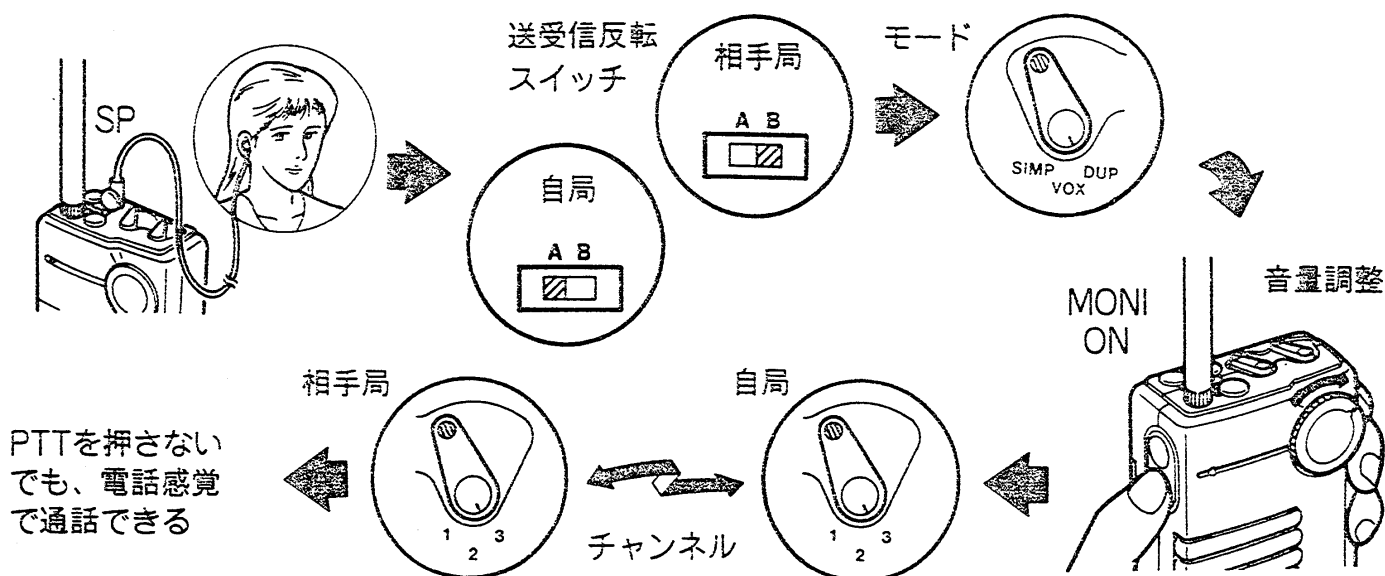


## ■DUP(デュプレックス)モード運用

電話と同じように、自局と相手局が同時に送受信できるのがデュプレックスモードです。

交信範囲は、周囲の状況(建物や山など)により異なりますが、見通しのよい所で約150~200m位です。

- ①付属のイヤホン(SP)をSPジャックに差し込みます。  
※イヤホンを付けないで運用すると、ハウリング(ブー音)をおこしますのでご注意ください。
- ②電池ケース内の送受信反転スイッチを、自局と相手局を逆(例：自局が“A”のとき、相手局は“B”)にセットします。
- ③モードスイッチを“DUP”にします。
- ④MONIスイッチを押しながら音量つまみを回して、聞きやすい音量にします。
- ⑤チャンネルスイッチを切り換えて、相手局と自局の交信チャンネルを合わせます。
- ⑥内蔵マイクロホンに向かって普通に話す大きさの声で話してください。  
※電話感覚での通話が楽しめます。



## ■オプションのヘッドセット(HS-58)を使用する

オプションのヘッドセットを使用すれば、VOXモードまたはデュプレックスモードではハンドフリー操作が楽しめます。

①イヤホンの代わりに、オプションのヘッドセット(HS-58)をMICおよびSPジャックに差し込み、ヘッドセットを頭に付けます。

※ヘッドセットのマイクロホンは、口から2~3cmの所にセットしてください。

②モードスイッチを“VOX”または“DUP”にします。

※“SIMP”でも使用できますが、送信と受信の切り換えはPTTスイッチで行ってください。

③前項「VOX, DUPまたはSIMPモード運用」のモードスイッチセット後の操作にしたがって、操作してください。

## 申請のしかた

免許申請書類のうち、「無線局事項書及工事設計書」は下記の要領で記入してください。なお、「アマチュア局免許申請の保証願」の送信機番号の欄に登録番号I-145または本機の名称IC-α6を記載すれば、送信機系統図を省略できます。

### 無線局事項書

2) 希望する周波数の範囲、空中線電力、電波の型式

周波数帯	空中線電力 (W)	電波の型式
50M	10	F3

### 工事設計書

22工事設計	第1送信機	第2送信機
発射可能な電波の型式、周波数の範囲	F3 50MHz帯	
変調の方式	リアクタンス変調	
部品 名称個数	2SC2538×1	×
	電圧・入力	4.5 V 0.4 W
送信空中線の型式		
その他工事設計	電波法第3章に規定する条件に合致している。	

付属のアンテナで申請するときには、「送信空中線の型式」の欄に「単一型」と記入してください。

# 定 格

## 一般仕様

- 電波型式：FM(F3)
- 送受信周波数：50MHz帯5ch
- 電源電圧：4.5V(単三型3本)
- 消費電流 Typ.
  - SIMP：送信時 150mA
  - ：受信待受時 35mA
  - ：受信最大時 150mA
- DUP：送信時 300mA
- アンテナインピーダンス：50Ω
- 接地方式：マイナス接地
- 外形寸法(突起物を除く)
  - ：58(W)×75(H)×30(D)mm
- 重量：160g(アンテナ・乾電池含む)

## 送信部

- 送信出力 Typ. SIMP：150mW
  - DUP：50mW
- 変調方式：リアクタンス変調
- 最大周波数偏移：±5kHz

## 受信部

- 受信方式
  - ：ダブルスーパーヘテロダイン方式
- 中間周波数
  - ：1st 10.695MHz
  - ：2nd 455kHz
- 受信感度(12dB SINAD)Typ.
  - SIMP：-13dBμ (0.22μV)
  - DUP：+5dBμ (1.8μV)
- スケルチ感度 Typ.
  - SIMP：-13dBμ (0.22μV)
  - DUP：+5dBμ (1.8μV)
- 低周波出力 Typ.
  - ：150mW at 8Ω

※測定値は、JAIA(日本アマチュア無線機器工業会)で定めた測定法によります。

※定格、外観、仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

本機の性能を余すことなく活用し、さらに充実、グレードアップをしていただくために次のような豊富なオプションを用意しています。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ①HS-58(マイク付きヘッドセット)   | ⑥OPC-254(外部電源ケーブル)      |
| ②HS-59(タイピンマイク)       | ⑦LC-69(ソフトケース)          |
| ③HM-46(スピーカマイク) 注1    | ⑧MB-24(マウントブラケット)       |
| ④BC-74(バッテリーチャージャー)   | ⑨MB-25(マウントブラケット)       |
| ⑤CP-12(シガレットライターケーブル) | 注1:VOX/DUPモードでは使用できません。 |

## アイコム株式会社

高品質がテーマです。

本 社	547 大阪市平野区加美東6丁目9-16	
北海道営業所	060 札幌市中央区大通東9丁目14	TEL(011)251-3888
仙台営業所	982 仙台市若林区若林1丁目13-48	TEL(022)285-7785
東京営業所	130 東京都墨田区亀沢1丁目4-18	TEL(03)3621-8549
名古屋営業所	466 名古屋市昭和区長戸町2丁目16-3	TEL(052)842-2288
金沢出張所	921 金沢市高島1丁目335	TEL(0762)91-8881
大阪営業所	547 大阪市平野区加美南1丁目8-35	TEL(06)793-0331
広島営業所	733 広島市西区観音本町2丁目10-25	TEL(082)295-0331
四国営業所	760 高松市塩上町2丁目1-5	TEL(0878)35-3723
九州営業所	815 福岡市南区塩原4丁目5-48	TEL(092)541-0211

●サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。